

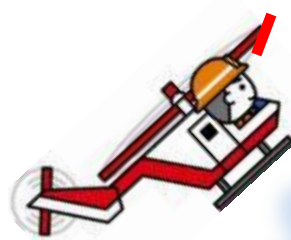
救急車詳細

平成30年12月に新しい救急車が東分署に配備されました。これから長い年月をかけ1万人以上の傷病者を病院へのご案内します。救急車も限りある資源です。有効利用にご協力をお願いします。



車両概要

車名	トヨタ (救急座間東1)
車両重量	2,860kg
総重量	3,245kg
長さ	565cm
幅	189cm
高さ	249cm
総排気量	2,690cc
乗車定員	7人
燃料の種類	ガソリン



消防ヘリやドクターヘリにもわかりやすいようにルーフに車両名が記してあります。

車両後部



車両後部にはスター・オブ・ライフ(生命の星)と呼ばれる蛇の巻きついた杖と6本の柱のデザインが描かれています。蛇は脱皮をすると、もとの姿に戻るため再生と治癒の象徴とされています。この杖はギリシャ神話に登場する名医アスクレピオスが持っていたことからアスクレピオスの杖と呼ばれ救急医療のシンボルマークとなっています。



救急車内



救急車後部の写真です。救急車内には、観察と処置の資機材が多数積載されています。病院搬送中は、傷病者のご家族(関係者)、救急隊員が乗っており病院へご案内します。

車載資機材



ベッドサイドモニター

血圧や脈拍、心電図などの観察を行います。持ち運びはできません。

自動呼吸器

呼吸が止まっている傷病者に気管挿管などをしたときに使用します。

自動体外式除細動器
心肺停止状態では電気ショックをかけることもあります。



ストレッチャー

歩行のできない傷病者を乗せます。低い位置まで下げることができます。